

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和元年 第2回定例会)

質問順位	11 10番議員 鳥飼勝美	
質問事項1	中山間地域の現状と課題について	
質問の要旨	<p>中山間地域には、多様な生態系、自然景観、伝統文化などが残され、また、食料生産の場でもあり、田畑を適正に管理することにより水害の緩和や地下水の涵養など、多面的に重要な役割を果たしている。</p> <p>町の中山間地域は、町の面積の3分の2を超えているが、集落人口の流出や少子高齢化などによって集落の機能の低下、過疎化進んできており、農業後継者問題、耕作放棄地の問題、土地の所有者が域外に住む土地の空洞化問題等厳しい状況下にある。</p> <p>このことから、今後の中山間地域の振興、活性化対策は町が取り組む喫緊の課題と考えるが、町の中山間地域の現状と今後の取組について質問する。</p>	
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 基山町の「限界集落」の現状について</p> <p>ア 中山間地域の「限界集落」の状況</p> <p>イ その他地域の「限界集落」の状況</p> <p>ウ 町における「限界集落」への対応策は何か</p>	町長
	<p>(2) 老朽化している農産物加工所「ちぎりの里」(2区小松地区)の今後について</p> <p>ア 農産物加工所は、今後とも継続していくのか</p> <p>イ 指定管理者の「農事組合法人ちぎりの里」との協議はなされているのか</p>	町長
	<p>(3) 現在、稼動していない基山町水車精米所(第2区小松地区)は、廃止すべきではないのか</p>	町長
	<p>(4) 町における総合的な中山間地域の振興策等を定める「基山町中山間地域振興計画」を策定すべきではないのか</p>	町長

般質問の質問者順番と質問事項

(令和元年 第2回定例会)

質問順位	11 10番議員 鳥飼勝美	
質問事項2	文化財行政等について	
質問の要旨	<p>現在、本町に数多く存在する文化遺産・文化財の中には経年劣化の著しいものが存在し、その維持管理や伝統行事などが少子高齢化等より、継続が困難になってきている状況である。</p> <p>このため、今後、町の文化財の利活用、歴史的文化財の保護、民俗芸能の継承等をまちづくりの一環として積極的に事業展開し、町内の限られた地域のみでなく、町の誇るべき伝統文化として周知し、次世代へ継承すべきと考える。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 基山町の指定文化財（国・県・町）の現状は</p> <p>(2) 荒穂神社の「御神幸祭」、園部宝満宮の「園部くんち」は、なぜ基山町文化財保護条例第25条の「基山町重要無形民俗文化財」に指定されていないのか</p> <p>(3) 今年1月に、国から認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」による文化財等の保存・利活用策とは何か</p> <p>(4) 基山町観光協会が作成した「神社散策ガイドブック」に搭載されている、古屋敷の「山神社」は、管理者が不在となり、消滅の危機にあるが、廃神社となるのか</p> <p>(5) 文化財保護の事務を教育委員会部局から町長部局へ移管すべきではないか</p>	<p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p>